

平成30年度 第 6 回教育委員会定例会

議決事項

| 件 名 | 提案理由 | 審議の状況 | 採決の次第 |
|------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-------|
| <p>報告第17号 平成30年度垂水市一般会計補正予算(第3号)案についての市長への意見申出について</p> | <p>平成30年度垂水市一般会計補正予算(第3号)案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告するものである。</p> | <p>特記事項なし</p> | |

平成30年度 第 6 回教育委員会定例会出席者

| 日時及び場所 | 出席者 | |
|--------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| <p>平成30年9月10日（月）</p> <p>午後2時00分</p> <p>↓</p> <p>午後3時25分</p> <p>第2研修室</p> | <p>教育長 坂元 裕人</p> <p>教育委員 野村 繼治</p> <p>教育委員 田原 正人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育委員 葛迫 幸平</p> | <p>教育総務課長 紺屋 昭男</p> <p>学校教育課長 明石 浩久</p> <p>社会教育課長 野嶋 正人</p> |

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成30年度第6回教育委員会定例会を開会した。

2 平成30年度第5回定例会会議録の承認

承認

3 議 事

報告第17号 平成30年度垂水市一般会計補正予算（第3号）案についての市長への意見申出について

4 その他

なし

5 委員並びに教育長及び課長報告

6 閉 会

議事内容等

| | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3 議 事 | 報告第 17 号 平成 30 年度垂水市一般会計補正予算（第 3 号）案についての市長への意見申出について |
| 教育総務課長 | 平成 30 年度垂水市一般会計補正予算（第 3 号）案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告した。 |
| 田原委員 | 上水之上自治公民館改修工事の補助金は、どんな工事だったのか。 |
| 社会教育課長 | 改修工事費は約970千円かかっている。内訳は屋根塗装457千円、シロアリ駆除193千円、広間の床補修319千円となっている。補助率は総工事費の40%で上限は360千円までとなっており、387千円となることから上限額360千円の補助となる。 |
| 田原委員 | わかった。 |
| 野村委員 | 牛根小学校グレーチング取替修繕とあるが、グレーチングとは何か。 |
| 教育総務課長 | 側溝の蓋で、鉄製の格子状の物だ。 |
| 野村委員 | わかった。 ブロック塀の修繕の予算があったが、大阪の事故を受けて垂水市内で、何件ぐらい危険なところがあったか、早めに対応しないといけないところがあったか教えてほしい。 |
| 教育総務課長 | 6月18日の大阪北部地震を受けて、翌19日に各学校にブロック塀を含めて危険箇所の点検を依頼した。翌20日に学校及び社会教育施設の点検を教育委員会の職員で現地調査を行った。ブロック塀においては、建築基準の2.2mを超える物は無かったが、垂水小学校の石積みについては、倒壊の恐れがあることから今回の補正予算で計上した。その他、柘原小学校のプールの擁壁においても、鉄筋の爆裂により、コンクリートが浮いている状況等が見受けられることから、今回修繕を行おうとしているものだ。その他、多少ひび割れが見受けられるブロック等があるが、急を要する修繕ではないということだ。 |
| 社会教育課長 | 社会教育課においては、この前の事故を受けて、公民館については、公民館主事に確認のお願いをし、後日職員で確認したが、特に危険箇所は無かった。しかし、ふれあい館と幼稚園との間のブロックがぐらついたり、県道側のブロックについても老朽化したりしていることから、今回の大阪の事故を受けて修繕するものだ。 |
| 野村委員 | わかった。垂水小学校の石積みは、切り石のことか。 |
| 教育総務課長 | そのとおりだ。平成28年の台風16号で垂水高校の石積みが崩れたこと、 |

| | |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | 今回のブロック塀の事故を受け、危険ではないかということで、改修工事の調査設計を委託するものだ。 |
| 教育長 | お長屋も石積みがあるがどうなのか。 |
| 社会教育課長 | お長屋の石積みも、結構風化が進んでいることから、今回の設計委託で調査することとしている。文化財ということで、施工にあたっては縛りがある。 |
| 野村委員 | わかった。 |
| 4 その他 | なし |
| 5 委員並びに教育長及び課長報告 | 委員並びに教育長及び課長報告 |
| 教育長 | 教育委員、教育長及び各課長の報告に入る。 |
| 野村委員 | <p>1. 「桂文珍・春風亭昇太 落語会について」</p> <p>8月23日（木）桂文珍・春風亭昇太の落語会を観賞した。抱腹絶倒という言葉があるが、まさに腹を抱えて、ゆったりした場所でもあれば、転げまわるほどに大笑いをした。落語会の開演から終了の時間まで、すべてが笑いの渦の中にあった。</p> <p>これが「落語だ」という、その笑いの真骨頂を短時間の中で、一方的に味合わされたという感じだった。</p> <p>テレビ等では良く見たりしているが、それも、落語会最トップの御二方を目の前に座っていただいているという生の場面は、もうたいへんな迫力であった。そういう意味では、もう二度と味わうことができないような体験をさせていただいたように思った。</p> <p>今や、上方落語界の重鎮である「桂文珍師匠」、また一方、新作落語会の旗手であり、日本テレビ「笑点」の六代目司会者として、桂歌丸師匠の後を受けて、その重責を担い、人気上昇中の「春風亭昇太師匠」、甲乙つけ難いお二人の垂水公演であった。観賞した多くの市民の皆様とともに、市当局、各部署の皆さんに感謝申し上げたいと思う。</p> |
| 田原委員 | <p>1. 「垂水市地区公民館研修について」</p> <p>8月20日（月）～21日（火）は垂水地区公民館研修があり、熊本地震の被災地の益城町の2つの自治公民館と、仮設住宅の中にある集会所の視察研修だった。</p> <p>2つの自治公民館は、地域住民の多額の経済的支援によって建てられた公民館で、当初避難所にはなっていなかったが、地域住民が被災状況を見</p> |

かねて、館長以下公民館幹部で話し合い、地震直後から避難所として開放したそうである。

最初の3日間は、食料と水を持ち寄り、農家から米や野菜を、トイレの水は井戸のある家から軽トラックにタンクを積んで運んだ。震災直後の段階では、公的支援が受けられないので、自助・近助（近所隣で助け合う）が大事だった。かねてから、5～6軒で構成する班の繋がり、地域の命が救える。災害弱者を真っ先に避難させられる。1週間以上経って、やっと公的な避難所からの食料が届くようになった。普段から日頃の付き合いが大切だとおっしゃっていた。

仮設住宅は入居の3年間の期限が迫っていて、復興住宅の建設は進んでいるが、全員退去の目途は立っていないそうである。

これまで全く繋がり、の無い人々の寄せ集まった被災者仮設住宅なので、中央に建てられた集会所に月1回は全員が集まって語る会を開くことを心がけているが、なかなか全員が集まることは無い。また、カウンセラーや保健師の方々が、一人暮らしのお年寄りの家を回っているとのことであった。先日はテレビで、大学生が仮設住宅内の中学生を集めて夏休みの宿題を教える塾を開いている場面が放映されていた。

9月6日(木)には、また北海道で地震が発生したが、自分たちも災害にどう備えなければならないか大変参考になる研修であった。

2. 「桂文珍・春風亭昇太 落語会について」

テレビでおなじみの、お二人を身近に表情が見える距離で聞いたことは最高であった。心の底から笑え、ストレス解消のひと時であった。市の財政も大変ではあろうが、本物の演芸娯楽の機会に乏しい本市にとって、このような落語会は「今後も是非続けてほしい。」と切にお願いしたいものである。

中谷委員

1. 「教育委員を退くにあたって」

8月の終わりに、坂元教育長先生から、「中谷委員、9月の教育委員会定例会は、何時間でも喋っていいですからね。」と優しい言葉を頂いていましたが、いかがいたしましょう。

さて、私は教育委員をさせていただいてから、早や5年の月日が流れました。委員になり、何をどうして良いのか分からないまま、あっという間の年月だった。その間、私はたくさんの方々に出会うことができ、たくさんのお宝を頂いた。

当初私は、「どういう活動をすればいいのだろう。」と心配していたところ、長濱前教育長先生が、「中谷さん、そのままの気持ちを母親という立場から見て、現場についてお知らせください。」とご指導くださった。それから私は、目と頭、口、そして手と足を柔らかくして、いつも、キョロキョロ、キョロ、キョロしていたと思う。

私には、寺、子育て、父の介護もありました。でも、それがいつも私を助けてきてくれたのも事実だった。私が、今こうしてこの場所に置かれていることに感謝して、「思い切り楽しもう。」と思った。実際とても楽しかった。委員会から届く手紙や書類が、とても待ちどおしかった。

| | |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>学校訪問に出席したとき、キラキラした眼の子どもたちに会えて、子どもたちのノートを覗いてみるのが、嬉しくてたまらなかった。</p> <p>それと、たくさん行事、どれだけの会に参加していただいたことだろう。おいしい給食も頂いたし、給食費230円の教育委員の集金係もさせていただいた。</p> <p>教育委員会定例会では、ある課長さんから、「中谷委員、質問をたくさんしてください。自分たちは質問されれば、されただけ一生懸命答えますし、より一層勉強してお答えに努力します。だからたくさん質問、疑問をください。」と話されていた。</p> <p>私は、このように、お一人お一人に、ほんとうに大事にされた。人生の中で、思いがけなく、こんなに素晴らしい時間を頂いたことに、心から感謝を申し上げたい。</p> <p>これからの教育委員会の、ますますのご発展を切に願い、報告とさせていただきます。誠にありがとうございました。</p> |
| 葛迫委員 | <p>1. 「夏休み美術企画展について」</p> <p>本年度の夏休み美術企画展として、鹿児島市の黎明館では、「ダンボールアート遊園地 in かごしま」、鹿児島市立美術館では、「ミュシャ展」、霧島アートの森では、「夏休みオバケびじゅチュ館～井上涼展」が開催され。</p> <p>連日の猛暑の中での各展覧会であったが、「夏休みオバケびじゅチュ館～井上涼展」は、ちょっとひんやりした山の中の美術館ということで、幼児から大人まで、そして県内外の多くの方々が詰めかけ作品を見ていた。</p> <p>8月19日(日)は、朝から松下美術館の「第33回全国公募南九州水墨画展」の作品を鑑賞し、午後には霧島アートの森で、「夏休みオバケびじゅチュ館～井上涼展」を鑑賞した。この展覧会はNHKのEテレの水曜日に放送される「世界の美術」を歌とアニメで紹介する『びじゅチューン』を手がけるアーティストの「井上涼さん」の展覧会だった。</p> <p>作詞・作曲・歌・映像・アニメなどすべてを手がける井上涼さんですが、この霧島アートの森でも、ポップな絵や奇想天外な歌詞に、観る者に不思議な面白さ、楽しさを感じさせてくれた。多くの子どもたちはその不思議さに立ち止まり、興味津々という感じだった。</p> <p>今年の夏休み美術企画展は、子ども向けの「ダンボールアート展」や「オバケびじゅチュ館」、デザイン性の高い「ミュシャ展」といった、さまざまなジャンル、そしてそこの多様性を付け加えた夏休みの企画展であったと感じた。「ダンボールアート展」の来場者2万人目で、垂水の方が新聞に掲載されていましたが、アートが、「面白い」、「楽しい」、「何だろう」、「なぜだろう」と、ここから始める「アート」の世界、「アート」の好きな子どもたちが増えていくことをこれからも期待したい。</p> |
| 教育長 | <p>1. 「中谷委員へのお礼」</p> <p>いつかはこう言う日が来るのですが、やはり寂しい気がする。</p> <p>これまで、中谷委員には、母親の立場から、また女性目線で、いつも子どもたちの心や母親の思いに寄り添った意見を出していただいた。</p> |

特に、取り巻く環境の厳しい家庭にも、保護者の心に寄り添いながら、励ましたり、時にはご指導いただいたりされてこれ、助けられた保護者、子どもたちも数多いことと思う。

学校訪問等でも、各学校の良さを具体的にほめていただいたり、課題についてはズバリご指摘いただいたりするなど、学校の良きアドバイザーとしての役割も果たしてこられた。

各種行事においても、常にやさしい眼差しで、微笑みながら「良いところ」を見つけてはご報告いただき、「プラス思考でものを見る姿勢」を学んだ気がする。視点を変えた発想には、「なるほど、そんな考え方もあるのか」と、気付かされることも度々あった。

また、ユーモアも解され、時にはジョークもおっしゃる等、柔軟性に富んでおられ、場を和ませ、いつも温かい雰囲気をつくってくださった。

これからは、住職を支え、家業にも専念されることと思いますけれども、今、しばらくは教育委員会の応援団として、また、バトンを引き継ぐことになる田之上委員の良き相談役として、お力を貸していただくとともに、厳しくも温かい眼差しで、私どもの施策・事業にもご意見を賜りますようお願いしたい。

さて、柗原小学校も中谷委員の応援なくしては、元気が湧かないと思われるので、引き続きよろしくお願ひしたいと思う。本日午前中に行われた最後の学校訪問が、中谷委員の隣の「柗原小学校」というのも、何かの縁を感じたところであった。

これまでの中谷委員のご功績に、心から感謝申し上げ、お礼に代えたいと思う。本当にありがとうございました。

教育総務課長
学校教育課長
社会教育課長

8月11日から9月10日までの主な行事等について報告。
併せて、10月9日までの予定についてお知らせした。

6 閉 会